

令和7年度 府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 物語を楽しんで読むことができるので、叙述に基づいてよりイメージを広げ、感想を交流できるようにする。 - 学習した漢字を日常の文章の中で使わずに、ひらがなばかりになってしまう児童がみられる。 - 句読点、段落、かっこの使い方の理解に個人差がある。 - 読書量に個人差があり、語彙が少ない傾向がある。	- 言葉や表現の効果への気付きについて単元を通して振り返り、確かめられるよう、デジタル教科書に書き込んでいく。【発見】 - 教科書や漢字ドリル、詩を音読させ、正しい言葉の使い方を確認する。【表現・決定】 - 文章を書く際に、正しい表記を確認するとともに、自分で読んだり友達と読み合ったりして丁寧に校正させる。【表現】 - 読書旬間を中心に読書に親しむ環境をつくり、読書量を増やして語彙の習得を図る。【決定】		
算数	- 一斉指導では、課題を解決する速さや理解に差がみられる。筆算などを正確に計算できる児童も多いが、一桁＋一桁で指を使って解いている様子がみられる。 - 文章問題で、足し算、引き算であるキーワードを（あわせて、ちがいは）見つけることや式を立てることに課題がみられる。 - 問題の答えに単位を付け忘れてしまう傾向がある。	- 個々に自己の課題に向かう意識をもたせ、解決の過程で学習方法を選択する場面をつくる。（友達や先生と学習する、ICT 機器を使う、一人で解く、教えるなど）【決定・対話】 - 文章問題で分かっていること、聞かれていることを色で分けてラインを引き、確認する。【発見】 - 問題ごとに答えに付ける単位の必要性を判断させ、適切に単位が付けられたことを確認する。【発見】		
生活	気付きを表現する活動を充実させ、気付きの質を高めるとともに、より主体的に取り組めるようにする必要がある。	- 個々の思いや願いをもとに学習への見通しや、その時間のめあてをもたせる。【決定】 - 振り返り場面では話し合ったり、記述したりする時間を確保する。【表現・対話】対話 - デジタルスキルの向上を図り、活用する。【表現】		
音楽	3拍子のリズムを感じ取ったり表現したりすることの難しさがみられる。 - みんなで楽しく歌っているが、響きのまとまりに課題がある。 - 鍵盤ハーモニカの演奏では、タンギングや運指の技能に個人差が大きい。	- 手拍子や打楽器でのリズム遊びに継続して取り組ませる。【表現】 - 互いに声を聞き合って歌うことに意識が向けられるように、様々な歌唱形態を経験させる。【発見】 - 個々に合わせた演奏技法を認め、演奏の楽しさを味わわせる。【表現】		
図画工作	- 素材や画材の扱い方に慣れていない様子がみられる。 - 自分の発想に自信がもてず、活動が始められなかったり友達の模倣に終始したりする様子がみられる。	- 素材や画材の基本的な扱い方や様々な表現方法を体験させるとともに、自分の発想に合った素材や画材の選択ができるようにする。【決定】 - 発想を広げる学習過程では、友達同士の対話を充実させ、自分の発想に自信をもって学習活動が始められるようにする。【対話】		
体育	- 運動能力の差が大きく、運動に対する意欲に差がみられる。 - 他者の運動への関心がもてず、運動に関する対話が少ない傾向にある。	- 個の能力に応じためあてをもたせ、それぞれに合った課題に取り組ませる。また、振り返りを行い、次時への見通しをもたせ、意欲を育む。【決定】 - グループで活動の様子を見合ったり、見たことを伝え合ったりする時間を設ける。【対話】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。